

2012

広報

おばま 6



《表紙》

食文化館前にパトカーや白バイ、消防車、救急車などが一堂に集まる「はたらく車大集合」。子どもたちは大はしゃぎで乗車したり、警察官の制服や防火服を試着して保護者に写真を撮ってもらったりなど、楽しい時間を過ごしていました。

(5月5日)

【特集】 看護の未来を担う学生たち

特集 看護の未来を担う学生たち



現在、日本は急速な少子高齢化を迎えています。また、社会においては、医療ニーズの高まりとともに、より専門性、高度な医療が求められるようになりました。

看護の対象は、健康な人から、健康障害、死に至る人までさまざまです。看護の果たす役割はますます拡大し、重要になっています。

今回はそんな看護職を目指し、日々奮闘する若き看護学生たちに密着しました。

講師面の充実も強化しています。

1年生では、主に講義を中心に、一般教養や基礎的な看護技術を学び、2年生の1月から本格的な実習が始まります。3年生になると、実際の医療施設で看護実習を行います。1月の卒業試験に合格し、2月下旬に実施される看護師国家試験に合格すると晴れて看護師となります。

▼男性入学者の割合が多い

入学者数は、ここ数年間は30人前後で推移しています。男性の占める割合は、平成15年度〜平成24年度の過去10年間で平均15・9%となっています。全国で就業する看護師のうち、男性看護師の占める割合が約5・1%ということを見ると、公立若狭高等看護学院では、男性の入学者が多いことが分かります。

▼充実したカリキュラム
公立若狭高等看護学院は、保健師助産師看護師法に規定する看護師養成所として厚生労働省の指定を受けた後、平成3年には、学校教育法に規定する専修学校として文部科学省の指定も受けました。

現在、基礎分野、専門基礎分野、専門分野Ⅰ、専門分野Ⅱ、総合分野の5分野で、計98単位の授業科目を設け、充実したカリキュラムで学生の教育に当たっています。また、福井大学、福井県立大学、京都大学、舞鶴工業高等専門学校、仁愛女子大学、島根大学から講師を招くなど、



本年度の入学式の様子（4月10日）

看護師国家試験 7年連続 100%合格！

毎年2月下旬に実施される看護師国家試験。公立若狭高等看護学院は、現在、7年連続100%の合格実績を収めています。

看護師国家試験合格率の推移
(公立若狭高等看護学院と全国平均の比較)

| 実施年 | 合格率 (%) | |
|------|------------|------|
| | 公立若狭高等看護学院 | 全国平均 |
| H18年 | 100 | 88.3 |
| H19年 | | 90.6 |
| H20年 | | 90.3 |
| H21年 | | 89.9 |
| H22年 | | 89.5 |
| H23年 | | 91.8 |
| H24年 | | 90.1 |

合格者の声

試験 験は、授業で習ったことが基本になっています。学生の皆さんは、毎日大変だと思いますが、時には自分にご褒美を与えながら、1つ1つこなしていってほしいですね。(第15期生)

講 義や実習で忙しく、大変だと感じることもあるかと思いますが、今学んで吸収したことは、必ず自分の身になります。頑張ってください。(第17期生)

試験 験の直前に、先生に「いつも通りにね」と笑顔で言われた時、緊張していたのが嘘のように無くなりました。先生方は、第二の母親のような存在だと感じました。(第20期生)

公立若狭高等看護学院の設立

小浜市では、昭和39年、公立小浜病院附属の准看護学院が開設され、看護師の人材育成がスタートしました。しかしながら、県内の看護師養成機関は、福井市内に集中する偏在的

公立若狭高等看護学院

- 所在地 〒917-0078 福井県小浜市大手町12号48番地
- 開設 平成2年4月
- 定員 1学年40人(男女共学)
- 卒業後の資格 看護師国家試験受験資格、保健師、助産師学校受験資格、養護教諭育成課程受験資格、専門士



設置により、小浜市における看護師の確保が進まず、地域間格差が生じていました。また、同准看護学院は、県外入学者が多いうえ、卒業後は、看護師養成所コースへ進学する人が多く、地元への定着も進まなかったのが実情でした。さらに、高齢化の進展等により慢性疾患が増加し、医療技術の高度化・専門化が進む中で、看護師などの医療従事者には高度な知識・技能が求められるようになってきました。

このような要請に応えるため、平成2年4月、「地元で看護師を養成し定着させる」という趣旨の下、公立若狭高等看護学院が設立されました。

看護師はまだ不足

現在、日本全国で看護師はおよそ3万人不足していると言われております。人員不足で、長時間・過密労働となっており、さらに平均在院日数の短縮化や医療技術の高度化なども相まって、夜勤・交代制勤務に従事する看護職員の労働環境は日々厳しさを増しています。

また、離職率は年12%を超える水準にあり、看護師資格を有しているにも関わらず、医療機関などに就労

看護の意義やすばらしさに気づき、成長してほしい



公立若狭高等看護学院
学院長
吉田 治義さん
よしだ・はるよし

急速に高齢化が進む中、看護師の役割はこれまで以上に重要になっていきます。知識や技能に関する高い専門性はもちろんのこと、社会への広い視野や倫理観も求められています。

看護教育では、正確な知識を習得し、観察力を身につけることにより病態の確かな把握ができること、また、優れたコミュニケーション力と正しい倫理観に支えられた看護技術の実践力を養うことが重要と考えています。

また、看護の対象は個々の人間であり、同じ生活環境や生活意識を持つ人はいません。看護は、こういった人たちに、健康の回復や健康保持の援助ができればなりません。3年間の看護教育の中では、看護技術の習得が最も重要であり、専門職として不可欠なものと考えています。

当看護学院では、教育理念に「生命の尊厳」「人間愛」を掲げています。これは、看護に最も大切な要素である、誰もが持ち合わせている「思いやりの心」でもあります。将来、人と関わる仕事をしたい、人の役に立ちたいと思っている人であれば誰でも看護師として成功すると思っています。

学生には、「自ら学ぼうとする力」を身につけてほしいと考えています。学院では、学習することへの興味や関心が引き出せるよう教材を工夫して提供し、また、理解していく過程が面白いと感じられ、達成感を得られるような学習形態・方法を採用しています。

学習する中で、看護のすばらしさや喜びなどを見いだせるよう、学生ひとりひとりの個性を重視し、学生を可能性のある存在として認め、教育に当たりたいと思っています。

学生には、看護の意義やすばらしさに気づき、人間として成長できる、そんな3年間であってほしいと願っています。

看護学生の1日

朝早くから講義に実習にと大忙しの看護学生たち。学生たちは、めまぐるしく過ぎていく日々の中で、友人、家族、先生などさまざまな人たちに支えられながら、看護や社会について学び、一人前の看護師、そして社会人に向かって一歩一歩、歩み続けています。



登校 8:00
8時を過ぎると続々と学生やって来ます



朝学習 8:45
講義の前の予習・復習



昼食 12:30
仲の良い友達で集まって教室で昼食を食べます



英語の授業 10:45
この日はウェルズ先生による英語の授業です



看護実習 15:30
ベッドメイキングの練習中です



学内カンファレンス 16:00
看護実習後の反省会…みんなで意見を出し合います



下校 17:00
今日も無事1日が終わりました



第21期生 3年
竹下 大亮さん
たけした・だいすけ
(30歳・福井市出身)

看護学生へインタビュー

「看護師を目指そうと思ったきっかけは？」

警察官として働く中、20代後半に差しかかり、自分の人生の方向性について考えるようになりました。そんな中、笑顔で一生懸命働いている看護師の姿に触れ、自分もこんな生き方をしたいと感じるようになりました。

「公立若狭高等看護学院を選んだ理由は？」

風光明媚な小浜の地で勉学に励みたかったこと、また、警察官時代、小浜出身の方と触れ合う機会があり、小浜の方は人間味あふれる方が多いという印象がありました。

また、他の看護学校に比べ、学費が比較的安いこと、そして何より、看護師国家試験合格率100%という実績に惹かれました。

「将来どんな看護師になりたいですか。」

この人から看護を受けて良かったと思ってもらえるような看護師になりたいです。また、安全安楽で、患者さんの立場に立った看護を提供できるようにしたいと思っています。

「看護職のどのような所にやりがいを感じますか。」

看護実習で患者さんが見せてくれた表情や言葉が、今でも心に残っています。看護とは、まさに、心と心の触れ合いだと感じています。現場の看護師を見るに付け、看護職が多忙な仕事であると実感していますが、それ以上に、やりがいのある仕事だと感じています。

「これから入ってくる学生へのメッセージをお願いします。」

先生方の指導は熱心であり、温かくもあります。7年連続国家試験合格率100%という実績の源は、恐らくここにあるのだと感じています。

絶対に看護師になりたいと思っている方はぜひ当看護学院に入学することをお勧めします。

看護を通して仕事の大切さやすばらしさを感じています



第21期生 3年
堂前 貴美さん
どうまえ・たかみ
(20歳・小浜市出身)

わたしは、母親が看護師ということもあり、小学3年生の時から看護師という職業に興味がありました。

看護という仕事は、決して簡単な仕事ではありません。人の命を預かる仕事であり、人と人とが接する仕事だからです。しかし、患者さんと接している中で、「ありがとう」と感謝の言葉をかけられた時や、自分が施したケアが患者さんの役に立っていると感じた時は、つらさ以上に仕事の大切さやすばらしさを感じます。

将来は、誠実かつ謙虚な気持ちで仕事に臨み、誰からも信頼される看護師になりたいです。看護師という仕事に誇りを持ち、自分が行う看護は、患者さんやその家族みんなの役に立っているという気持ちをお忘れずに、日々精進していきたいです。看護を志す皆さん、わたしと一緒に看護を学びましょう。

卒業後の進路

開校以来約500人の卒業生を社会に送り出しています。卒業生のうち、約9割以上の人が病院などの医療施設や保健施設に就職し、そのうち約半数が公立小浜病院で看護師としての一歩を踏み出します。

また、さらに高度な技術を習得するために看護系大学に編入したり、助産師や保健師を目指して進学する人もいます。(進学率3・6%)

※主な就職先と進学先

【就職先】 杉田玄白記念公立小浜病院、国立循環器センター、舞鶴医療センター、大阪大学病院など
 【進学先】 福井大学、金沢大学、山形大学、県立島根看護専門学校など

「看護の日」記念式を開催

5月12日の「看護の日」に合わせて、「看護の日」記念式が開かれました。式では、2年生36人が1人ずつナイチンゲール像にもされた火を自分のろうそくに移し、「教えを得るすべての方々との出会いに感謝し、真摯な気持ち、謙虚な姿勢で看護を提供します」などと誓いの言葉を唱和。1月から始まる本格的な看護実習に向けて決意を新たにしました。



「看護の日」記念式で誓いの言葉を唱和する2年生（5月11日）

「看護の日」って…

21世紀の高齢化社会を支えていくためには、看護の心、ケアの心、助け合いの心を、ひとりひとりが分かちあうことが必要です。こうした心を、老若男女を問わず誰もが育むきっかけになるよう、旧厚生省が、1990年に5月12日を「看護の日」と決めました。そして、12日を含む週の日曜日から土曜日までを「看護週間」とし、毎年、全国各地で看護に関するさまざまな行事が行われています。

看護での経験は必ず人生の糧になる

現役看護師から看護学生へ



第2期生
小林 みゆきさん
こばやし
公立小浜病院勤務
(39歳・生守在住)

わたしは、2期生としてこの学院に入学しました。当時はまだ新しい学院で、先輩や先生方とも楽しく学院生活を送ることができました。また、実習病院がすぐ隣にあり、学習環境も恵まれていました。

卒業後は京都の病院で働いていましたが、仕事の内容も、スタッフ同士の関わりも田舎では経験できないものがありました。15年前、地元の病院で働きたいと思い、小浜に帰ってきましたが、小浜病院で働いていると、地域の中核病院ならではの経験も多く、都会では経験できないことが数多くあると感じています。

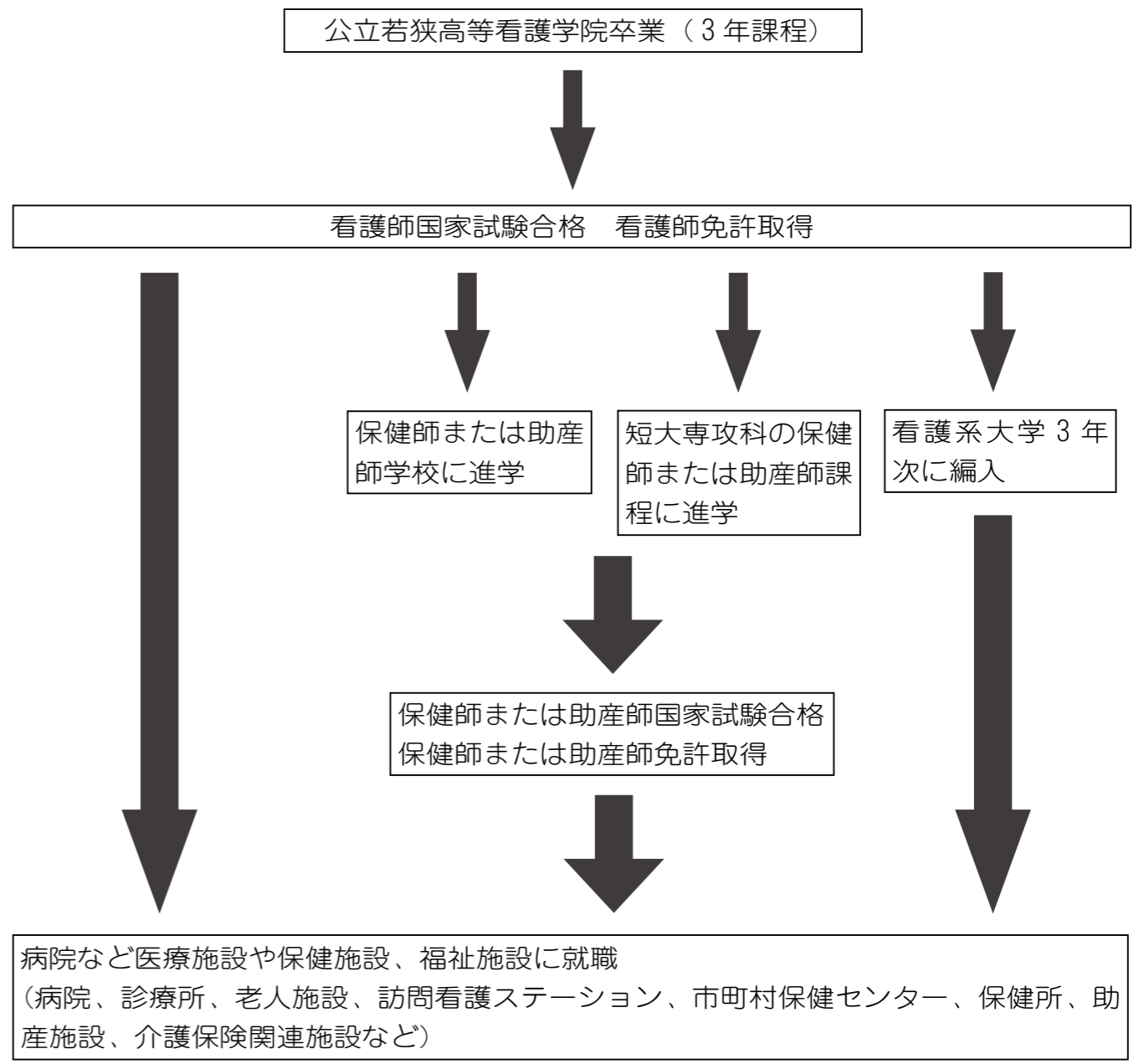
看護師、助産師になって16年。辞めたいと思ったことは一度もありません。たしかに、つらいと感じることもあります。それでも、わたしたちも含めて、すべて、わたしの人生にプラスになっていると思います。

の人生にプラスになっていると思います。

患者さんからいただく「ありがとうございます」という言葉は大変心に響きます。わたしは、これからは、必ずと看護師、助産師として多くの人たちと関わっていきたいと思います。

数ある職業の中でも、看護師という職業は、人の生命に関わる尊い職業です。近年、日本でも、人の生命に関わる大きな災害や事故が起こっています。そんな今だからこそ直接生命に関わるこの職業は、大変意味深く、いろんな事を感じることが出来ます。

専門職としての技術を身に付けていくためにはつらいこともあるかもしれませんが、その先には、多くの患者さんや、仕事仲間と共有できる大きな喜びがあるはず。この職業に就いてこそ経験できる貴重な体験のひとつは、必ず自分の人生の糧になると思います。同じ職業を目指した仲間同士、お互い前に向かって頑張ってくださいませ。



卒業後の進路

公立小浜病院からのお知らせ



| 事業名 | 内容 | 工事期間 |
|-------|------------------|---------|
| 第1期事業 | 精神病棟、医師・看護師・学生宿舎 | H13～H16 |
| 第2期事業 | 病棟、救命救急センター、医療機械 | H17～H19 |
| 第3期事業 | 外来診療棟、除染施設、駐車場など | H21～H24 |

高度医療施設整備事業完了間近

地域医療の充実を図るために、平成13年度から進められてきた高度医療施設整備事業(第1期、第3期工事)も第3期工事の一部を残すのみとなりました。

第3期工事のうち、外来診療棟や除染施設などの整備は既に完了し、現在、20日の完成に向けて、患者用駐車場を建設中です。事業完了により、より充実した医療サービスの提供が可能となります。